



### 第4回栃木県なしグランプリ審査会を開催



10月7日及び9日になしグランプリの現地審査、24日に品質審査・最終審査を実施しました。

現地審査では、樹の管理、着果管理、ほ場管理、病害虫防除など審査基準に基づき、評価を行いました。推薦ほ場は工夫やこだわりをもって梨づくりに取り組み、それぞれ特徴のある栽培を行っていました。

今年度のにっこの生育は、全般的にやや小玉傾向ではあるという声が聞こえたものの、裂果の発生は少なく、順調に推移していました。

10月24日には品質審査を開催し、糖度や外観、果肉障害などの審査を行い、終了後最終審査を実施しました。表彰式は令和2年1月21日に開催する予定です。



### とちぎのおにぎりスター誕生！（おにぎりコンテスト）の開催について



県産米オリジナル品種「なすひかり」「とちぎの星」の品質の良さや良食味を実感してもらうため、高校生や大学生など若い世代を対象に、おにぎりレシピを募集しました。

県内の高校・専門学校・短大・大学の29校から合計1,133点の応募があり、1次審査・2次審査を開催し、5点の優秀作品を選出いたしました。

今後、令和元年11月9日(土)ホテル東日本宇都宮で最終審査会を開催し、2次審査員（関係団体米関係者、百貨店・コンビニ・量販店関係者）、特別審査員五つ星お米マイスター：澁谷梨絵氏に加え、おにぎりを提供できる店舗・飲食店等の関係者が作品を試食審査します。

また、入賞作品は、商品化して2020年1月下旬から2月末まで、県内の飲食店や販売店で提供してもらうスタンプラリー「とちぎのおにぎりスター誕生！キャンペーン」を実施します。

#### 【第1次審査・第2次審査結果】

(1) 第1次審査 1,133点から80点を選出

(2) 第2次審査 80点から下記の5点を選出

- ゆば巻き みそ焼きおにぎり (宇都宮大学)
- いちご大福風デザートおにぎり (三友学園 I F C 栄養専門学校)
- コメおとめ (栃木県立白楊高等学校)
- おとん豚と湯波の栃握り (白鷗大学足利高等学校)
- とちぎいっぱい!! 栄養満点カラフルおにぎり (宇都宮短期大学附属高等学校)





## 海外牛肉バイヤー招へいの実施

栃木県の委託業務として、10月1日から4日にシンガポールの牛肉バイヤーやシェフ6名を招へいし、県内のとちぎ和牛の生産現場等を視察しました。

滞在中は、JAかみつが管内の和牛生産者（鹿沼市）の畜舎や食肉センターなどを視察し、畜産物の生産から流通までの現場の状況をお伝えしました。

参加者は、初めて見る和牛に関心が高く、和牛生産者との活発な質疑応答が行われ、良い環境で育成されていることに興味を示していました。

また、今回は観光農園（栃木市）におけるトマトの収穫体験や直売所視察などを通じ、栃木県は農業が盛んであることも広く紹介しました。

これにより、シンガポールにおけるとちぎ和牛や青果物の取り扱いが増加することが期待されます。



## 2019動物感謝デー in JAPANにおける県産農産物のPR

10月5日(土)東京の駒沢オリンピック公園にて2019動物感謝デー in JAPANが開催され、栃木県ブースに出展しました。ブースでは、梨（あきづき）、トマトの販売・PRを行ったところ、当日の猛暑も手伝って梨の売れ行きは好調でした。また、観光パンフレットの配布なども行い、「栃木県」に対する興味が高まるよう併せてPRを行いました。



## 県産銘柄牛懇談会・とちぎ和牛枝肉共励会

10月9日(水)品川プリンスホテルにおいて、買参人を中心とした市場関係者に本県銘柄牛の認知度向上と積極的購買を促進するため令和元年度栃木県産銘柄牛懇談会が開催されました。翌10日(木)は東京都中央卸売市場食肉市場において、令和元年度第40回とちぎ和牛枝肉共励会並びに第40回JAグループ栃木交雑種枝肉共励会が開催され、厳正な審査を経て各賞を選出しました。主な受賞者は次のとおりです。

- ◆とちぎ和牛最優秀賞～栃木県知事賞ほか  
木下智昭様（JAなすの） 枝肉単価5,076円 販売金額3,228,336円
- ◆交雑種最優秀賞～日本食肉格付協会賞ほか  
松本敏幸様（JAうつのみや） 枝肉単価2,001円 販売金額1,316,658円



## 令和元年度こんにゃく立毛共進会（掘り取り審査）の実施

10月17日(木)2年に1度開催しているこんにゃく立毛共進会の掘り取り審査を実施しました。9月10日の立毛審査の成績上位者(今回は2圃場)について、審査方法に基づき各12玉(3か所×4玉)を掘り取り重量を測定しました。最終的な審査結果については、令和2年2月13日(木)のこんにゃく立毛共進会表彰式で発表されます。





## 第3回こんにゃく作況調査（今年度最終回）を実施

栃木県の特産物「こんにゃく」について、10月10日(木)に今年度3回目の作況調査を実施しました。毎年、鹿沼市（1品種1圃場）、茂木町（2品種1圃場）で実施していますが、いずれの産地・品種とも、地上部の生育（葉柄長・葉身長・全重）は前年及び平年をやや下回ったものの、新球茎肥大倍率はおよそ前年及び平年に近い値となりました。

また、台風通過により一部ほ場で葉の反り返り等がみられましたが、その後の対応で大事には至らず、病害についても全般的に少ない状況でした。



## いちご反収アップセミナーの開催について

10月25日(金) J Aビルにおいて、いちごの反収アップに向けた取り組みについて、生産者・関係者出席のもと、いちご部会によるセミナーが行われました。事例発表では全農より、いちごゆめファーム2年目の取組や、栃木県から、いちご研究所による多収生産技術に関する試験・令和2年産とちおとめの生育経過と技術対策について、スライドを交えながら、講演していただいた後、情報交換を実施しました。今回は、台風の影響から参加者が限られましたが、今後も内容と実施時期を検討しながら、生産者の役に立つ取組を実施していく予定です。



## バラ研究会による小学生の花束づくり体験の指導



10月25日(金)栃木県バラ研究会（5名参加）が小学生による花束づくり体験を指導しました。対象は、宇都宮市立姿川第二小学校の6年生118名であり、体育館内にブルーシートを敷き約90分間で行いました。全体を4グループに分け、花束づくりは好きなバラを7本選ぶところから始まり、花を束ね→包装→リボンをかけるまでの一連の作業を40分かけて行いました。花束を渡す相手を想像しながら楽しそうに取り組むこともたちが印象的でした。

また、花や品種の特徴等を説明する品種紹介(20分)や花の飾り方・栄養剤の使い方等に関する花の管理説明(20分)も行いました。



## とちぎグルメスタンプラリーキャンペーン

県外の飲食店「とちぎ和牛提供店」「とちぎの旬彩店」の対象店舗にて、とちぎグルメが当たる「とちぎグルメスタンプラリー」を開催しています。参加は簡単、対象店舗にてスマホQRコードでアクセスするとGPSで判断し、スタンプがプレゼントされます。

ぜひ、抽選で「とちぎ和牛」や「とちぎの旬の野菜」などが当たるキャンペーンに、スタンプを集めてご応募ください。

応募期間

第1弾 2019. 6. 30 (日) ~ 9. 30 (月)

第2弾 2019. 10. 1 (火) ~ 11. 30 (土)



QRコード



### ◆◆◆◆◆ 11月の予定 ◆◆◆◆◆

1日(金)~2日(土)	農林水産祭実りのフェスティバル (東京)
6日(水)	第2回幹事会 (J Aビル)
7日(木)	スーパーコーチ派遣事業 (県内)
	スーパーコーチ派遣事業 (県内)
8日(金)	スカイベリー現地検討会 (おやま管内)
9日(土)	とちぎのおにぎりスター誕生最終審査会 (ホテル東日本)
11日(月)	スーパーコーチ派遣事業
12日(火)	とちぎ農産物イメージアップ研修会 (三友学園)
	米-1コンテスト1次審査 (農機会議室)
15日(金)	とちぎ農産物イメージアップ研修会 (東京 福島工業)
18日(月)	栃木県シクラメン&冬の鉢花展覧会審査会 (とちぎ花センター)
	産地視察研修会 (那珂川町他)
22日(金)	栃木県肉用牛総合共進会 (交雑種) (芝浦市場)
28日(木)	栃木県肉用牛総合共進会 (黒毛和種) (芝浦市場)



一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会 (令和元年11月発行)

TEL: 028-616-8787 FAX: 028-616-8715

<http://www.tochigipower.com/> 「カラダにとちぎ」で検索